



平成 28 年 11 月 7 日

各 位

会社名 パルステック工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 幸博  
 (コード番号 6894 東証第二部)  
 問合せ先 取締役 坂倉 茂  
 (TEL. 053-522-5176)

**平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異に関するお知らせ**

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月13日に公表した平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日発表の実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異について

(1) 第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	893	45	46	27	2.02
今回実績 (B)	939	164	164	140	10.23
増減額 (B) - (A)	45	118	118	112	
増減率 (%)	5.1	260.4	253.8	405.8	
(参考) 前年同期実績	960	113	116	101	7.39

(2) 差異の理由

第2四半期連結累計期間の売上高は、ポータブル型X線残留応力測定装置は当初計画を下回りましたが、光ディスク関連機器・装置は当初計画を大幅に上回ったことから、前回予想を上回りました。損益面につきましては、固定費の削減や原価低減効果に加え、比較的収益性の高い製品が多かったことなどにより、前回予想を上回りました。

2. 通期の連結業績予想について

通期の売上高は、ポータブル型X線残留応力測定装置、ヘルスケア関連がけん引役となるものの、光ディスク関連機器・装置は減少傾向で推移する見通しであります。損益面につきましては、さらなる固定費の削減や原価低減に注力いたしますが、収益性の低い製品の増加を見込んでいるため、利益率は低下傾向で推移する見通しであります。以上により、現時点における通期の連結業績予想につきましては、据え置くことといたしました。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因(経済情勢の急激な変化、関連業界の動向等)により異なる結果となる可能性がありますのでご注意ください。

以上